

感染症対策条例案を可決

6月県会 補正予算案も

県議会6月定例会は3日、本会議を再開し、歳入歳出に584億8784万円を追加する本年度一般会計補正予算案(早期執行分を除く)や新型コロナウイルス対策を進める上で、基本的な考え方や手続きを明確化する感染症対策条例案など22議案を原案通り可決し、専決処分3件を承認して閉会した。

感染症対策条例案は一部議員から「拙速過ぎる」などと反対討論があったが、起立多数で可決された。来年4月に中核市への移行を目指す松本市からの申

し出も議決された。これを受け、県から松本市に同意書が交付される。

◇ 県議会は3日、議会運営委員会を開き、9月定例会の日程概要を決めた。会期は9月24日から10月9日までの16日間で、一般質問は9月29日、30日、10月1、2日の計4日間となる。

日程の概要は次の通り。

- ▽9月24日＝開会
- 25日＝議案調査▽26、27日＝休会▽28日＝議案調査▽29、30日、10月1、2日＝一般質問▽3、4日＝休会▽5～7日＝各委員会▽8日＝議案整理、総務企画警察委員会▽9日＝閉会

(田子元気)

東京との往来慎重に

知事が要望 埼玉・北海道も

阿部守一知事は3日の会見で、新型コロナウイルスの新たな感染者が東京都で増えていることに懸念を示し、往来について慎重な行動を取るよう、あらためて県民に呼び掛けた。県のモニタリング調査で直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数(3日午前9時時点)は東京が3.27人、埼玉が1.24人、北海道が1.12人にな

ったことに加え、東京と同様に埼玉、北海道との往来についても慎重な行動を求めた。

対応を求めているが、往来自粛を求めるものでないことを明確にするため、表現を「慎重な行動」と改めた。

人混みを避ける▽接待を伴う飲食店などクラスタ(感染者集団)発生の可能性がある場所への訪問を控える▽人混みでのマスク着用▽基本的な感染防止策の徹底を求め

る。

阿部知事は現時点で東京都との往来自粛を求める考えはないとし、「引き続き状況をモニタリングし、動向に応じて必要な対策を講じていく」と述べた。

(田子元気)

阿部守一知事は3日の会見で、新型コロナウイルスの新たな感染者が東京都で増えていることに懸念を示し、往来について慎重な行動を取るよう、あらためて県民に呼び掛けた。県のモニタリング調査で直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数(3日午前9時時点)は東京が3.27人、埼玉が1.24人、北海道が1.12人にな



県のモニタリング調査を示しながら、慎重な行動を呼び掛ける阿部知事

東京都内で3日、新型コロナウイルスの感染者が新たに124人確認されたことがわかった。2日の新規感染者107人をさらに上

回ることになった。都内で2日連続で新規感染者が1000人を超えるのは、政府の緊急事態宣言が発令中だった5月1日(165人)と翌2日(154人)以来、2カ月ぶり。

(読売)